

## 第3期北海道競馬推進プランの進捗状況

令和5年(2023年)3月15日(水)  
北海道農政部競馬事業室

### 1 基本方針

計画期間	令和3年度から令和7年度まで
目指す姿	<b>これからも競馬ファンに愛されるホッカイドウ競馬</b> 「道営競馬の開催」と「他主催者競馬の発売」を車の両輪として推進し、道民とともに競馬事業の安定と馬産地の持続的発展を目指す
経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>馬産地競馬を通じ、強い馬づくりと全国への競走馬の供給</li> <li>ホッカイドウ競馬の認知度向上と発売拡大</li> <li>場外発売所での他主催者競馬の発売による収益確保</li> <li>騎手・きゅう務員など競馬の基盤となる関係者の確保</li> <li>老朽化した基幹施設の配置見直し及び整備更新</li> </ul>

### 2 取組の方向性と進捗状況

#### (1) ヒトの充実

取組項目	現状・課題	これまでの主な対応と今後の方向性
①騎手・きゅう務員等の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○騎手人数は、令和2年度末18名→令和3年度末19名→令和4年末時点17名と推移。令和4年度中の2名減少は、引退(調教師として合格)及び他主催への移籍によるもの。</li> <li>○令和5年度から新人騎手2名が追加予定の一方、50代の騎手が4名在籍しており、騎手の確保は引き続き課題。</li> <li>○きゅう務員は、令和3年3月時点で183名、令和4年3月時点で180名、令和5年3月現在で191名とほぼ横ばいで推移しており、きゅう務員の確保は引き続き課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地方競馬教養センターの騎手養成に係る普及啓発ポスター等を馬産地の中学校・高校に送付したほか、子供達の競馬に対する理解醸成のため、JBC開催日に馬産地の小学生を招聘。</li> <li>○地方競馬教養センターに出向き、所属先未定の騎手候補生に対する勧誘活動を実施。</li> <li>○きゅう務員総数の約4分の1を占める外国人きゅう務員の定着に向け、日本語講習会等を開催。</li> <li>○令和5年度に新人騎手に対する手当制度を創設。</li> <li>○今後予定しているきゅう舎及び住居整備を計画的に推進し、騎手・きゅう務員の労働環境を改善。</li> </ul>

②きゅう舎経営の安定	○調教師は、令和2年度末の35名から、現在は30名に減少。 (令和4年度に引退騎手1名が調教師試験に合格)	○令和3年度以降、調教師・騎手・きゅう務員に直接支払われる手当を増額。 ○冬期間の在厩馬確保によるきゅう舎経営の安定化と出走馬確保に向け、冬期在厩3歳馬手当及びホッカイドウ競馬所属のまま、他競馬場に出走する際の輸送費補助制度(冬期他場重賞遠征費補助)を創設。
③関係者における公正確保	○他の地方競馬での不正案件(馬券購入等)が発生。ホッカイドウ競馬においても引き続き厳正な公正確保が求められている。	○開幕時における調教師等に対する訓示会の開催。 ○騎手・きゅう務員に対する公正確保に関する研修会の開催。

## (2) モノの充実

取組項目	現状・課題	これまでの主な対応と今後の方向性
①基幹施設の計画的な更新整備	○門別競馬場の基幹施設(きゅう舎、住宅、業務施設)の老朽化が進行しており、計画的な更新整備が急務。 ○基幹施設更新には多額の経費が必要となるため、財源確保が課題。	○令和4年度開催終了後、門別競馬場本走路の大規模改修を実施。 ○令和4年度にきゅう舎の移転整備に係る実施設計を実施。令和5年度からきゅう舎整備予定敷地の林地伐採などの造成工事に着工予定。 ○業務エリアの整備については、令和5年度に基本設計に着手予定。 ○毎年度の収益を確保しながら基幹施設整備のために基金を造成するとともに、国や地方競馬全国協会に対して、地方競馬の施設整備に対する支援措置の継続・充実についての要請を実施。
②場外発売所のあり方の検討	○老朽化した場外発売所の移転・更新が課題。	○令和3年8月、狹隘だった江別場外発売所を移転。 ○令和5年3月、老朽化した千歳場外発売所を移転。【資料3-2】 ○令和5年3月末に老朽化した岩見沢場外発売所を廃止予定。 ○今後とも、お客様がゆったりくつろいで馬券を購入できる環境構築に向けた取組を引き続き推進。
③新型コロナウイルス感染症予防対策	○令和3年度までは、緊急事態宣言等に対応し、競馬場の無観客開催や場外発売所の休止、時短営業を実施。 ○令和4年度は、感染予防対策を徹底しながら、開幕当初から通常どおり開催。	○令和4年度に各場外発売所に新たに空気清浄機を設置。 ○令和5年3月13日に改訂された業界のガイドラインに則しながら、必要な感染予防対策を実施。 (来場者のマスク着用は個人の判断に委ねる)

### (3) ファンの拡大

取組項目	現状・課題	これまでの主な対応と今後の方向性
①インターネット上の顧客の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発売の9割以上を占めるインターネット上のファン拡大が重要な課題。</li> <li>○他主催者に比べてインターネットやSNSを活用した情報発信が不足。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インターネット会員のさらなる獲得・定着に向け、インターネット広告を実施するとともに、インターネット事業者と連携したポイントサービスや道産農畜産物などのプレゼントキャンペーンを実施。</li> <li>○令和4年度から大手競馬情報サイトに重賞競走のデータ分析特設ページを開設。</li> <li>○令和4年度後半から、ホッカイドウ競馬公式 YouTube チャンネルでレース映像を放映。</li> <li>○令和5年度以降、YouTube を活用した馬産地やホッカイドウ競馬のPR、ホッカイドウ競馬の特色である2歳馬戦に着目した情報発信を強化。</li> </ul>
②顧客の拡大対策（門別競馬場）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和3年度までは、新型コロナウイルス感染予防対策のためイベント開催は自粛。</li> <li>○令和4年度は、競馬場での来場者向けイベントを徐々に再開。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○動画サイトを活用した門別競馬場の魅力紹介（令和4年度）</li> <li>○令和5年3月22日～23日に道庁1階道政情報コーナーにおいて、ホッカイドウ競馬及び馬産地日高をPRするパネル展示等を予定。</li> <li>○令和5年度以降、門別競馬場の認知度向上に向け、地元観光資源との連携やイベントを積極的に展開。</li> <li>○馬産地の競馬場らしい、花の装飾など清潔感あふれる環境構築を引き続き追求。</li> </ul>
③顧客の拡大対策（場外発売所）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和3年度までは、新型コロナウイルス感染予防対策のためイベントは開催自粛。</li> <li>○令和4年度後半から、イベントを徐々に再開。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和4年度は、騎手によるトークショーの開催や冬期間における集客確保に向けたプレゼントキャンペーンを展開。</li> <li>○場外発売所の集客確保に向け、道産農産物等の来場者プレゼントなどのイベントを引き続き実施。</li> <li>○お客様がゆったりくつろいで馬券を購入できる環境を構築（再掲）。</li> </ul>

### (4) 馬と番組の充実

取組項目	現状・課題	これまでの主な対応と今後の方向性
①馬・馬主の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和3年度は前年度に比べ、出走延べ頭数・レース数ともに増加。また、1レース当たり平均出走頭数も増加。</li> <li>○令和4年度は、開催日数増に伴いレース数は増加したものの、出走延べ頭数は減少し、1レース当たり平均出走頭数も減少。 【資料1-1】参照</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和3年度以降、出走馬確保に向け、春先の出走を促す早期出走奨励金の支給や競走馬購入費補助の充実、賞金の引上げ等の対策を実施。</li> <li>○令和5年度は、最低賞金・出走手当の引上げや、冬期在きゅう3歳馬手当を新設し、これまで以上に出走馬確保対策を充実。</li> </ul>

②強い馬づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和3年度に、競走馬購入補助金の対象の3歳馬「ラッキードリーム」が2年ぶり6頭目となる3冠を達成するとともに、NARグランプリで「ナッジ」が2歳最優秀牝馬を、「スピーディーキック」が2歳最優秀牝馬をそれぞれ受賞。</li> <li>○令和4年度に、ホッカイドウ競馬の3歳三冠戦線で二冠を達成した「シルトプレ」がNARグランプリにおいて3歳最優秀牝馬を受賞。</li> <li>○ホッカイドウ競馬出身馬が他地方競馬主催者やJRAのレースで活躍する一方、閉幕後に転きゅうする馬が多く、特に春先の出走馬不足が課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○屋内調教用坂路を活用した強い馬づくりを引き続き推進。</li> <li>○冬期在厩3歳馬手当を創設し、有力馬を確保（令和5年度）。</li> <li>○冬期間、ホッカイドウ競馬所属のまま他主催者の重賞競走等に出走しやすくするため、冬期他場重賞遠征費補助を創設（令和5年度）し、有力馬を確保。</li> </ul>
③魅力ある番組づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○注目度の高いJBC2歳優駿競走を令和2年度の創設以降、毎年実施。【資料3-3】</li> <li>○ホッカイドウ競馬の特色である2歳馬戦を活かした魅力ある番組づくりや、出走馬確保による少頭数レースの解消が課題。</li> <li>○令和5年から6年にかけて予定されている「全日本的なダート競走体系の見直し」後に、有力馬の出走促進や長距離移動が必要となる地方競馬所属馬が中央及び地方交流競走に参戦しやすい環境整備が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新たな全日本的なダート競走体系の下で有力馬の出走を促進するため、ダートグレード競走の実施時期等を変更するとともに、ホッカイドウ競馬の重賞競走体系見直しと賞金の底上げを実施。</li> <li>○短距離競走の体系整備の観点から、2歳秋及び3歳春において高額賞金の重賞級認定競走（ネクストスター競走）を新設。</li> <li>○注目度の高い2歳馬戦（新たに供用開始となった種牡馬産駒限定戦）の実施を検討。</li> <li>○地方競馬所属馬が中央及び地方交流競走に参戦しやすい環境整備に向けた施策や、滞在厩舎の整備など遠方から出走しやすい仕組みの整備について地方競馬全国協会に要請。</li> <li>○出走馬確保対策により少頭数レースの解消。</li> </ul>

### (5) サービスの向上

取組項目	現状・課題	これまでの主な対応と今後の方向性
①インターネット上のサービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公式ホームページの掲載情報の一部について、目立たない位置に掲載されているため、レイアウト等の改善の余地がある。</li> <li>○注目度の高いレースの実施日において、公式ホームページの動作が不良となる事象が発生。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公式ホームページのレース予想情報を充実するとともに、必要な情報に容易にたどり着けるよう、レイアウトを改修。</li> <li>○回線速度を増速し、公式ホームページのアクセス環境を改善。</li> </ul>

②情報発信内容の改良・充実	○ホッカイドウ競馬の特色である <b>2歳馬戦</b> については、 <b>戦歴が少なく予想情報が限られる。</b>	○令和4年度に、屋内調教用坂路に調教映像撮影用のカメラを増設し、令和5年度から <b>新たに2歳馬の屋内調教用坂路における調教映像を公式ホームページで公開。</b> ○競馬関連WEBサイトにおける重賞競走のレース分析などの情報発信を強化。 ○ <b>公式ホームページに掲載する専門紙予想情報を充実。</b>
③競馬場や場外発売所の環境改善	○老朽化した場外発売所では、発売所内や駐車場のスペースが手狭となり不便が発生。	○令和3年8月、狭隘だった江別場外発売所を移転（再掲）。 ○令和5年3月、老朽化した千歳場外発売所を移転（再掲）。



# 新 A i b a 千歳の概要



# □ 新A i b a千歳の概要

- ◇オープン日時 令和5年3月3日（金）10時
- ◇所在地 千歳市東郊1丁目7-1
- ◇施設面積 907m<sup>2</sup>
- ◇収容人数 184名
- ◇駐車場 104台

- (参考) 移転元のA i b a千歳
- ◇所在地 千歳市幸町3丁目3-2
  - ◇施設面積 923m<sup>2</sup>
  - ◇収容人数 300名
  - ◇駐車場 50台



# □ 立地

- JR千歳駅から徒歩18分。
- 近隣には、千歳市内でも人気の飲食店が複数あり、サーモン橋の対岸には、道の駅「サーモンパーク千歳」が立地しています。
- 施設の裏には、森に囲まれた遊歩道など市民の憩いの場も隣接しています。



## □ 外観等

- 来場者にも分かりやすいよう施設の正面入口に「A i b a千歳」の看板を設置しました。
- 駐車場は、隣接地に旧施設の2倍以上の駐車台数を確保しました。

区分	旧A i b a千歳	新A i b a千歳
駐 車 場	50台	112台



A i b a千歳と一目で分かる正面入口

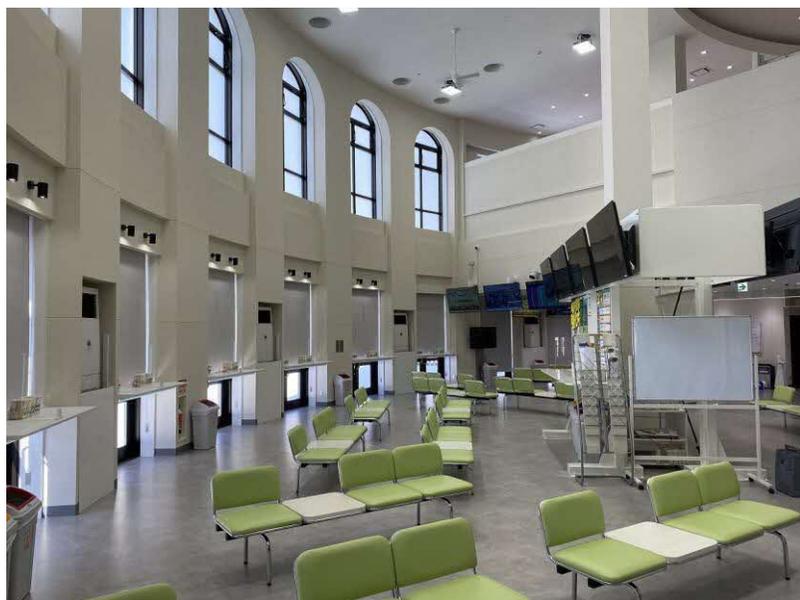


現行施設の2倍以上の駐車台数を確保

## □ 施設の環境改善①

- 吹き抜けと大きな窓により開放的な空間の演出と旧施設と同等の広さを確保しました。
- 来場者が多く見込まれる土日は2階を使用し混雑を緩和しています。

区分	旧 A i b a 千歳	新 A i b a 千歳
施設面積	923㎡	907㎡



【1階席】吹き抜けがあり明るく開放的な空間



【2階席】窓からは千歳川と森が見え癒やしの空間

## □ 施設の環境改善②

- 混雑時にもスムーズな購入動線となるように入口の正面奥に発売機を設置するとともに、車いすをご利用の方に対応したバリアフリー発売機を設置しました。
- 人と人とのスペースが十分確保できるよう、1階と2階の窓側一面に記載台を設置しました。



正面入口から分かりやすい位置に発売機を設置  
車いすの利用者の方の発売機を設置



人と人とのスペースが十分確保できるよう窓側一面  
に記載台を設置

## □ 働きやすい環境

- 整理員室には、場内監視のための大きな窓を設置するとともに電灯や空調を集中管理出来るようにしました。
- 従事員が働きやすい環境とするため、バックヤードや休憩室の面積を確保しました。



【整理員室】場内が一望できる大きな窓を設置



【休憩室】広々とした休憩室を設置

ホッカイドウ競馬では地域に根ざした場外発売所を目指していきます!!  
引き続き、Aiba千歳に変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願いいたします。

## JBC 2歳優駿競走の実施結果

令和4年11月3日（木祝）門別競馬場において第3回目のJBC 2歳優駿競走を実施。  
1日全体の発売額は16億8,739万円で計画対比113.9%となった。（計画額14億8,089万円）

### 1 発売結果

1日の発売額	JBC 2歳優駿の発売額
1,687,395,750円	946,243,600円

※参考（1日の発売額レコード）

令和3年11月3日 1,821,992,390円（第2回JBC 2歳優駿施行日）

### 2 入場人員

○ 842名（内訳：招待者・馬主200名程度、一般客640名程度（うち事前申込327名））

### 3 当日の状況



2歳優駿優勝馬「ゴライコウ」（JRA所属）



大井競馬ファンファーレ隊と富川高校吹奏楽部によるファンファーレ演奏



うまキッズへ岡田牧雄氏から競馬の説明



ファイターズガール「きつねダンス」

## 4 当日の主な取組

- 馬産地の特色を活かすとともに、生産者等のPR等に資するよう取組を展開。

### (1) 「共に走る」競走のPR

- ホッカイドウ競馬の支援団体や、今年共同開催する岩手競馬や、来年度共同開催の大井競馬との連携・連帯を示す「共に走る」を使用したレース名を設定し、支援団体の紹介やホッカイドウ競馬の支援団体との関わりについてPRすることとし、レース前にCS放送及び場内外でPR映像を放映。
- 競走内容

レース	競走名称	関係団体等
第1レース	今年のJBCは岩手と共に走る特別	岩手県競馬組合
第2レース	軽種馬生産振興会と共に走る特別	各軽種馬生産振興会
第3レース	軽種馬農協と共に走る特別	日高、胆振、十勝軽種馬農協
第4レース	北海道馬主会と共に走る特別	北海道馬主会
第5レース	馬主協会と共に走る特別	札幌馬主協会、函館馬主協会
第6レース	日本軽種馬協会と共に走る特別	日本軽種馬協会
第7レース	BTCと共に走る特別	軽種馬育成調教センター
第8レース	JBC協会と共に走る特別	ジャパンブリーダーズカップ協会
第9レース	第3回JBC2歳優駿	—
第10レース	来年のJBCは大井と共に特別	特別区競馬組合
第11レース	JBCデーはSPAT4で！特別	—
第12レース	門別でお得なSPAT4特別	—

### (2) 生産者にスポットを当てた取組

- 各レースとも生産者賞を授与。JBC2歳優駿優勝馬の生産者インタビューをBSフジでライブ中継。

### (3) 地元との連携

#### ア 富川高校吹奏楽部によるファンファーレ演奏

- 門別競馬場近隣の富川高校吹奏楽部によるファンファーレ演奏  
(東京トイソウルファンファーレ隊とのコラボ演奏(10R、12Rのファンファーレ及びエキストラ曲(走れマキバオ)))

#### イ 「ひだかうまキッズ」

- 新ひだか町の「ひだかうまキッズ」を競馬場に招待。レースや競馬場内を視察。  
※ 地元小学生が地元の基幹産業である馬産地や競馬の理解を深める体験学習を実施。

### (4) その他イベント

#### ア STVラジオ公開生中継

- ラジオの公開生放送を実施(しろっぴ、上杉周大、ファイターズガール)

#### イ ファイターズガール「きつねダンス」

- ファイターズガールの「きつねダンス」を実施。

#### ウ 大井ファンファーレ隊演奏(TTF)

- 9R～12Rでファンファーレ演奏を実施。富川高校吹奏楽部とコラボあり。

#### エ 畜産物PRフース

- 「しほろ牛ビーフジャーキー」やPR資材を700セット配布